

狂言「止動方角」  
しどうほうかく

能「殺生石」  
せつしようせき

# 黒部夏の 能・狂言の会

黒部夏の

2005年

8月5日(金) 開場18:30 開演19:00

黒部市国際文化センター コラーレ (カーターホール)

全席指定 6,000円

- 公演当日に限り高校生以下の方は空席を1,000円でお買い求めいただけます。当日は必ず生徒手帳をご持参ください。
- この公演は黒部市の助成により低料金に設定しております。
- 5歳未満のお子様のお入りはご遠慮願います。
- 公演中の一時保育(無料)を希望される方は事前にご連絡ください。

<プレイガイド>

黒部市 コラーレ/0765-57-1201   メルシー/0765-54-2221  
 魚津市 新川文化ホール/0765-23-1123   魚津サンプラザ/0765-24-3030  
 入善町 コスモホール/0765-72-1105   コスモ21/0765-74-9100  
 朝日町 アスカ/0765-82-2000  
 滑川市 サン・アビリティーズ/076-475-3342  
 富山市 インフオマート[市民プラザ]/076-491-0110 [CIC駅前店]/076-444-7013  
 婦中町 アルブラザ富山(ファボーレ内)/076-466-1828  
 高岡市 高岡市生涯学習センター3F/0766-20-1800

お問い合わせ: コラーレ TEL. 0765-57-1201  
富山県黒部市三日市20番地 E-mail: info@colare.jp URL: www.colare.jp

主催 財団法人黒部市国際文化センター  
協賛 チューリップテレビ/FMとやま  
後援 黒部市/黒部市教育委員会/北日本新聞社/月刊Takt



栗谷 能夫



野村 万作



野村 萬齋

# 能の「美」と、 狂言の「面白さ」。

開館から10周年、地道な活動を続けられる関係者皆様に囲まれ、毎年薪狂言を公演させていただいていますが、今回は念願の案が実現し、能を上演する運びとなりました。

「殺生石」は筋も理解しやすく動きも面白い、いわばポピュラーな能で、シテ（主役）の演者の粟谷能夫氏は、喜多流の実力者、かつて私も親しくおつき合いのあった亡き粟谷新太郎氏の後継として活躍しておられます。

狂言「止動方角」は、主従の対立を描いた賑やかな作品で、萬齋の太郎冠者に、私も老骨に鞭打つて久しぶりに主の役を演じることと致しました。

能と狂言は、共通した様式性を持っていますが、話の内容は誠に対照的に作られております。能の美を感じとり、狂言の面白さを理解していただければ誠に幸いです。

山村 不 作

解説 金子敬一郎

## 狂言

### 止動方角

しどうほうかく 太郎冠者 野村 萬齋 伯父 野村万之介  
主 野村 万作 馬 竹山 悠樹

休憩十五分

## 能

### 殺生石

せつしょうせき 妖狐の霊 粟谷 能夫  
里の女 玄翁和尚 森 常好  
女体 能力 石田 幸雄  
大鼓 佃 良勝 太鼓 助川 治  
小鼓 鵜澤洋太郎 笛 松田 弘之



### 〈狂言〉 止動方角（しどうほうかく）

太郎冠者は茶くらべをしにいく主人に命じられ、主人の伯父のところへ茶と太刀と馬を借りに行きます。伯父は快く貸してくれるのですが、この馬には人が後ろで咳をするので暴れるという癖があるので、それを鎮める呪文もあわせて教えてもらいました。

太郎冠者を待ちかねた主人は、労をねぎらうどころか、遅いといきなり叱りつけます。腹を立てた太郎冠者は、主人の乗った馬の後ろで咳払いをし、主人を落馬させます。腰を打った主人は、太郎冠者と交代するのですが……。一頭の馬をめぐって、太郎冠者と主人が繰り広げる大活劇。中世のたくましい人間模様がつつさに伝わってきます。

### 〈能〉 殺生石（せつしょうせき）

玄翁という僧が下野の那須野を通りかかると、飛ぶ鳥が巨石の上に落ちてきます。そこへどこからともなく女が現れ、その石は「殺生石」といって、触るものすべてを殺してしまうので近寄ってはいけないと言います。玄翁がわけを聞くと、昔、帝の寵愛を受けていた玉藻前という才色兼備の女が、その命を狙っているのが知れ、逃げてここで殺され、その執心が石になったと語ります。そして、自分こそがその石の魂だと明かし、夜になったら真実の姿を見せようと言って、石の中に消えます。

玄翁が供養して引導を渡すと、殺生石は二つに割れ、妖狐が現れます。妖狐は、天竺・唐土・日本と三国に渡って王朝に危害を加えてきたのだが、この野で武士に討たれた後は石魂となつて殺生を繰り返していたと言います。そして、供養のおかげで成仏できたので、今後は殺生をしないと約束して消えます。

今回は「女体」という小書（特殊演出）でお送りします。女の執心・魔性の魅力を際立たせた演出となっています。

村上雄山 能面の世界  
げん げん  
「現と幻」

2005年  
7月31日(日)～8月7日(日)

コラーレ(展示室) 入場無料

黒部市国際文化センター  
コラーレ

富山県黒部市三日市20番地 TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207  
E-mail: info@colare.jp URL: www.colare.jp  
開館時間/9:30～22:30 (土曜～23:00) 毎週水曜休館